

大学院の教育目的・目標および3つのポリシー

<社会科学研究科>

教育研究上の目的および教育目標

山梨学院大学大学院社会科学研究科は、国際政治・国際関係、経済・経営、財政・租税等にかかる諸学に関する教育研究活動を通じて、広い国際的視野を持ち、実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して、理想の未来を創る人材、特に、高度の専門性を有する職業等に必要な能力をもった人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うべく卓越した、たくましく生きる能力を培うことを教育目標とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学大学院社会科学研究科では、学生が以下の能力を修得することを大学院の学位授与方針とする。

ディプロマ・ポリシー	
DP 1	<p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、公共政策の分野に係る専門知識を深く修得し、専攻領域についての見識が高められている（把握する力）。</p> <p>②社会の諸課題を解決するために、必要な情報を的確な方法によって集め、専門知識を応用して、論理的・批判的に分析することができる（考え抜く力）。</p> <p>【創造力と行動力】</p> <p>③社会内にある多様な価値観を尊重し、それらに対して公平な姿勢を保つことができる。（協調する力）。</p> <p>④問題関心にしたがって、調査研究を追求し続けることができる（挑戦する力）。</p> <p>⑤自らの考えを適切に表現し、社会的に意義の深い研究成果を挙げる（行動する力）。</p>
DP 2	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。
DP 3	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。
DP 4	自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学大学院社会科学研究科では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

カリキュラム・ポリシー	
教育内容	国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、公共政策の分野について、深い専門知識を修得し、特定のテーマに関する調査研究能力を高め、得られた知見の活用能力を身につける。
教育方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義科目では、国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、公共政策の分野について、学問分野ごとに高度な専門知識を体系的に修得する。それらの知識の活用のため、ディスカッションが充分に行われる。 2. 「演習」では、研究領域に係る文献等の批判的な読解やディスカッションを行いながら、調査研究のテーマ（対象）および方法を修得する。 3. 修士論文では、研究テーマ（対象）の設定、研究方法の獲得、論文の執筆、研究報告等を通して、学術論文の作成方法を修得する。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、公共政策に係る3つの専門領域に関して講義科目においては、知識の定着度を試験もしくはレポートによって評価する。 2. 演習においては、研究方法の獲得状況をレポート報告やディスカッションへの寄与によって評価する。 3. 修士論文においては、修士論文審査基準に従って評価する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学大学院社会科学研究科では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

アドミッション・ポリシー
山梨学院大学大学院社会科学研究科では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。
1. 国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、公共政策の分野について、広く問題意識を持ち、研究能力及び知識を高めようとする人。（基礎的な知識技能）
2. 研究課題を多角的にとらえて、適切に分析及び考察することができる人。（思考力・判断力・表現力等の能力）
3. 研究目的・対象等を定めて、向上心を持って研究活動に取組み成長しようとする人。（主体性・多様性・協働性）